

“音楽都市こおりやま”市民音楽祭

KORIYAMA  
**Mandolin**  
CLUB

第12回定期演奏会

午後のひととき

2012年11月23日(土)  
開演 14:00

場所：ミューカルがくと館  
(大ホール)



\* Conductor \*

指揮：武田洋之

\* 1st Mandolin \*

松岡 節 富樫智美 吉成 智 須永多賀子 本田真知子

\* 2nd Mandolin \*

金澤恭子 館川健治 横澤裕也 小林志津子 深谷笑子 高橋米子

\* Mandola Tenore \*

上野さらら 村上明子 長谷川穂美 植竹重之

\* Mandoloncello \*

熊田茂範 佐藤良子

\* Guitar \*

春山秀城 平 文雄 赤間絵美 大関真奈美

\* Contrabass \*

上野 博



メンバー募集のお知らせ

郡山マンドリンクラブでは、  
メンバーを随時募集しております。  
下記までお気軽にお問い合わせください。

練習時間／毎週土曜日 午後4時～7時  
練習場所／ミューカルがくと館  
お問い合わせ／koriyama.mandolin@gmail.com

## 演奏曲目

### 第1部 マンドリンオリジナル曲

山嶽詩／S. サルベッティ

南風／加賀城浩光

組曲 中世の放浪学生／A. アマディ

休憩10分間

### 第2部 アンサンブル

〈セレーナ〉

ひこうき雲／新井由美 酒井国作 編

風の憧憬／光田康典 M. アストン 編

金澤恭子 横澤裕也 長谷川穂美 熊田茂範 平 文雄

〈ギタートリオ〉

三重奏曲 二長調／P. グラニアーニ

春山秀城 平 文雄 赤間絵美

〈SALA〉セレーナ

マドリッドの夜／M. マッチョッキ

小林志津子 上野さらら 富樫智美 須永多賀子

村上明子 佐藤良子 赤間絵美

〈ラ・コレダ〉

ブエノスアイレスの春／A. ピアソラ

ブエノスアイレスの冬／A. ピアソラ

春山秀城 松岡 節

休憩10分間

### 第3部 ポピュラー曲

薔薇色のメヌエット／P. モーリア

花祭り／アンデス民謡

八重の桜メインテーマ／坂本龍一

スタンダードジャズメドレー／武田洋之 編

## 曲目解説

### ● 幻想的序曲「山嶽詩」

1870年に作曲されたこの曲の原題は「Poesia Alpestre」です。

アルプスの山々の風景を抒情豊かに表現した曲で、雄大な峰々、山麓に生い茂った森林地

帯、高原、氷雪に覆われた険しい様子を思い浮かべることができる曲です。

目を閉じて登山している気分や空から眺めている気分でお聞きください。



### ● 前奏曲第5番「南風」

作者は1961年宮崎県生まれ。プロのマンドチェロ奏者であり、

「マンドリン音楽の新ジャンルを生み出す」という理念の元、合奏曲だけでなく、独奏曲やマンドリンとマンドチェロの二重奏曲を主とした作品を多く発表している。

本曲は作者が与論島に訪れた際に、青い海から吹いてくる心地よい潮風を感じながら作られた曲である。

全体的にゆったりとした温かなメロディーは自然と受け入れることができ、めぐるい毎日を過ごす人々を優しく包み込み、やすらぎを与えてくれる。

風の流れを表現したちょっとしたおまけにも注目。



### ● 組曲「中世の放浪学生」

本曲は音楽辞典のアマディの業績にも挙げられている代表作品の一つであり、管弦楽曲として作曲されたものである。

4楽章構成で、それぞれに副題がついている。

1楽章「放浪Ronda」 知識を深め、見聞を広めるために各地を旅する放浪学生が、ゆっくりと歩いてくるような、ちょっとコミカルでのんびりした雰囲気の曲。

2楽章「愛のワルツValzer d'amour」 旅先のロマンスを想像させる美しい情緒的なメロディで、心の動きのように曲のテンポや曲想が大きく変化する。

3楽章「朝の調べMattinata」 一日の始まりである朝が、速弾きによる静かな緊張感で表現される。時々かかるブレーキが緊張感をより高めている。

4楽章「謝肉祭の行列Corteggio Carnevalesco」 曲が目まぐるしく展開し、謝肉祭の騒がしさ、喜び踊る人々などの情景が浮かんでくるようである。この組曲のクライマックスにふさわしい華やかな曲。

※放浪学生：中世のヨーロッパで、修学途中で脱落し、あるいは大学を出ても就職できぬまま地方を放浪した学生の総称。



## 山嶽詩 幻想的序曲「山嶽詩」（シモーネ・サルベッティ作曲）の曲紹介

1870年に作曲されたこの曲の原題は「Poesia Alpestre」です。  
アルプスの山々の風景を抒情豊かに表現した曲で、雄大な峰々、  
山麓に生い茂った森林地帯、高原、氷雪に覆われた険しい様子を思い浮かべることができる曲です。  
目を閉じて登山している気分や空から眺めている気分でお聞きください。

### 南風

#### 前奏曲第5番「南風」

作者は1961年宮崎県生まれ。プロのマンド Cherny 奏者であり、「マンドリン音楽の新ジャンルを生み出す」という理念の元、合奏曲だけでなく、独奏曲やマンドリンとマンド Cherny の二重奏曲を中心とした作品を多く発表している。本曲は作者が与論島に訪れた際に、青い海から吹いてくる心地よい潮風を感じながら作られた曲である。全体的にゆったりとした温かなメロディーは自然と受け入れることができ、めまぐるい毎日を過ごす人々を優しく包み込み、やすらぎを与えてくれる。風の流れを表現したちょっとしたおまけにも注目。

### 組曲 「中世の放浪学生」 Suite Goliardica

本曲は音楽辞典のアマディの業績にも挙げられている代表作品の一つであり、管弦楽曲として作曲されたものである。

4楽章構成で、それぞれに副題がついている。1楽章「放浪Ronda」；知識を深め、見聞を広めるために各地を旅する放浪学生が、ゆっくりと歩いてくるような、ちょっとコミカルでのんびりした雰囲気の曲。2楽章「愛のワルツValzer d'amour」；旅先のロマンスを想像させる美しい情緒的なメロディで、心の動きのように曲のテンポや曲想が大きく変化する。3楽章「朝の調べMattinata」；一日の始まりである朝が、速弾きによる静かな緊張感で表現される。時々かかるブレーキが緊張感をより高めている。4楽章「謝肉祭の行列Corteggi」；曲が目まぐるしく展開し、謝肉祭の騒がしさ、喜び踊る人々などの情景が浮かんでくるようである。この組曲のクライマックスにふさわしい華やかな曲。放浪学生；中世のヨーロッパで、修学途中で脱落し、あるいは大学を出ても就職できぬまま、地方を放浪した学生の総称。

### 演奏曲名

#### 演奏曲名

#### <第1部>

「山嶽詩」 作曲；S. サルベッティ  
「南風」 作曲；加賀城 浩光  
「組曲 中世の放浪学生」 作曲；A. アマディ

#### <第2部>

- セレーナ（金澤恭子、横澤裕也、長谷川穂美、熊田茂範、平 文雄）  
「ひこうき雲」 作曲；新井 由美 編曲；酒井 国作  
「風の憧憬」 作曲；光田 康典 編曲；M. アストン
- ギタートリオ（春山秀城、平 文雄、赤間絵美）  
「三重奏曲 二長調」 作曲；P. グラニアーニ
- SALA（小林志津子、上野さらら、富樫智美、須永多賀子、村上明子、佐藤良子、赤間絵美）  
「マドリッドの夜」 作曲；M. マッチャヨツキ
- ラ・コルダ（春山秀城、松岡 節）  
「ブエノスアイレスの春」 作曲；A. ピアソラ  
「ブエノスアイレスの冬」 作曲；A. ピアソラ

#### <第3部>

「薔薇色のメヌエット」 作曲；P. モーリア  
「花祭り」 アンデス民謡  
「八重の桜メインテーマ」 作曲；坂本龍一  
「スタンダードジャズメドレー」 編曲；武田洋之

出 演 者

フ ロ グ ラ ム 用

Coductor	武田洋之						
1st Mandolin	松岡 節	富樫智美	吉成 智	須永多賀子	本田真知子		
2nd Mandolin	金澤恭子	館川健治	横澤裕也	小林志津子	深谷笑子	高橋米子	
Mandola Tenore	上野さらら	村上明子	長谷川穂美	植竹重之			
Mandoloncello	熊田茂範	佐藤良子					
Guitar	春山秀城	平 文雄	赤間絵美	大関真奈美			
Contrabass	上野 博						

23名 + 司会 + カメラ = 25名

芝浦

音楽祭アーティスト  
Goto Mix Band